

2026年度〔第42期〕敦賀市民歴史講座〈全 4 講〉

『信長から秀吉へ～そして家康へ―越前・若狭の武将たち―』

昭和 60 (1985) 年に開講以来、体系的な年間テーマのもとに、歴史を学ぶ楽しさを市民と共有しながら、連年開催されてきた「敦賀市民歴史講座」は、令和 5 (2023) 年度の第 39 期より企画・運営メンバーを一新し、ネクストステージへと旅立ち、令和8 (2026) 年度の第42期の今年で、四期目を迎えました。

この1月からは、NHKの大河ドラマ『豊臣兄弟!』が、豊臣秀吉の弟、秀長を主人公に、放映を開始しました。
今年度講座では、この放映にちなみ、豊臣兄弟が生きた時代における越前・若狭地域の武将たちの動向を通じて、地域の歴史的意義を再発見し、市民の歴史理解を深めることを目的とする講座を、多彩な講師陣により展開致します。
皆様方の聴講をお待ちしています。

- 【開始時刻】 全講座 午後 2 時～ (受付開始 午後 1 時～)
【会 場】 敦賀市立図書館 3F 研修室 《定員》100 名 (当日先着順)・《対象》年齢不問
【受講料】 ￥200 円 (協力金)・《気比史学会々員は無料》
【主催】 気比史学会 (お問い合わせは、《事務局》山本 武志 (Tel090-9766-7645) まで)
【後 援】 敦賀市

7月4日(土)《第1講》『信長以前～越前・若狭の「戦国時代」』

講師 外岡 慎一郎 氏 (元奈良大学教授)

NHK 大河ドラマ、今年は「豊臣兄弟!」。

敦賀はどこでどのように描かれるのか。あの有名な場面の演出は……。楽しみは尽きません。

さて、「豊臣兄弟!」に寄せた今回の連続講座の初回は、「豊臣兄弟!」では描かれることがなかった、秀吉・秀長が信長の越前侵攻に従ってやってくる以前の越前・若狭がテーマです。

信長・秀吉の時代を通じて、地域がどのように変容したのかを考える素材になればと思います。



《講師紹介》外岡 慎一郎 (とのおか しんいちろう) 氏
1954 年 神奈川県横浜市出身。
1984 年 中央大学文学研究科国史学専攻、単位取得満期退学。
敦賀(女子)短期大学地域総合科学科専任教員、敦賀市立博物館館長、奈良大学史学科専任教員などを経て、現在、奈良大学文学部史学科非常勤教員。奈良県古文書現状調査、御所市藤井家文書調査に参加。
主な著作・論文に『越前・若狭 武将たちの戦国』(共著)・福井県郷土誌懇談会・岩田書院・2023 年)、
「大谷吉継の家臣とその編成」(『奈良史学』42 号、2025 年)など。

7月25日(土)《第2講》『丹羽長秀と柴田勝家』

講師 大河内 勇介 氏 (福井県立歴史博物館 主任学芸員)

天下統一を成し遂げた羽柴秀吉と秀長の兄弟。いま、彼らが駆け抜けた時代に注目が集まっています。そこで、秀吉が多大な影響を受け、名字とした、「羽」=丹羽長秀、「柴」=柴田勝家を取りあげます。

二人は実は福井県とゆかりの深い人物でもあります。

長秀の若狭統治や勝家の越前統治の特徴、そして二人の運命を大きく変えた本能寺の変から賤ヶ岳の戦いまでの動向などについて、古文書を読み解きながら紹介していきます。



《講師紹介》大河内 勇介 (おおこうち ゆうすけ) 氏
1982 年 三重県四日市市出身。
京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。
現在、福井県立歴史博物館主任学芸員。専門は、日本中世史。
『幕末維新の激動と福井』、『天下人の時代』、『「鬼柴田」勝家の実像』、『天下人の子 結城秀康と一族・家臣』、『秀吉と越前の武将たち』の展示を担当。

8月29日(土)《第3講》『大谷吉継、挫折からの復活と敦賀』

講師 石畑 匡基 氏 (大手前大学国際日本学部 講師)

天正 17 (1589) 年に、大谷吉継は敦賀城主となったことは、敦賀の人なら誰でも知っている事柄でしょう。豊臣秀吉に早くから仕えた吉継は、順風満帆な人生を歩み、城主に就任したと思われるかもしれませんが。しかしながら、その直前の吉継は、豊臣政権から追放される危機に瀕していたことが、近年の研究によって明らかになってきました。

追放の危機という大きな挫折を味わった吉継は、豊臣秀吉から何を期待されて、敦賀城主として復活を遂げたのでしょうか。本講では、吉継の挫折と復活の物語を皆さんと紐解いていきたいと思っています。



《講師紹介》石畑 匡基 (こくはた まさき) 氏
1988 年 岡山県新見市出身。
2010 年 高知大学人文学部卒業。卒業論文『宇喜多氏家中騒動と大谷吉継』
2016 年 高知県立歴史民俗資料館に学芸員として奉職。
九州大学大学院単位取得退学。博士 (比較社会文化)
2022 年 大手前大学国際日本学部講師として奉職。
主な論文に「秀吉死後の政局と大谷吉継の豊臣政権復帰」(『日本歴史』772 号、2012 年)、
「大谷吉継発給文書の基礎的研究」(『織豊期研究』27号、2025年)

9月27日(日)《特別講》フィールドワーク『羽柴兄弟とめぐる北近江の旅』

※行程・定員・参加費など詳細は、決定次第ご案内します。

12月19日(土)《第4講》『福井藩の成立過程における敦賀―結城秀康の敦賀支配―』

講師 北村 太智 氏 (敦賀市立博物館 学芸員)

慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いで、敦賀城主・大谷吉継は命を散らしました。その後、敦賀を含む越前国の領主になったのが、徳川家康の次男・結城秀康です。

氣比神宮の記録では、織田信長による焼き討ちの記事の次は、秀康が氣比神宮を復興した記事になっており、氣比神宮の歴史に蜂屋頼隆や吉継は出てきません。

秀康は、頼隆や吉継が整備した港町・敦賀をどのように支配していったのでしょうか。中央政権と秀康の関わりにも触れながら、福井藩の成立過程を敦賀からの視点で見えていきます。



《講師紹介》北村 太智 (きたむら たいち) 氏
1997 年 石川県金沢市出身。
2020 年 龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻卒業
2022 年 同大学文学研究科日本史学専攻修士課程修了。同大学同専攻博士後期課程入学、現在も在籍中。
2024 年 敦賀市で奉職。
現在、敦賀市立博物館学芸員(みなとつるが山車会館・人道の港 敦賀ムゼウム兼務)。
主な論文として、「芳春院江戸下向の再検討」(『加賀藩研究』第 13 号、2023 年)、
「「関ヶ原の戦い」と北国」(織豊期研究第 25 号、2023 年)など。

★令和8年度 敦賀市立博物館主催の戦国関連講座(気比史学会協力)

8月 9日(日) 13:30～16:30 吉 継 カ フ ェ + (プ ラ ス) 会場:きらめきみなと館 小ホール
「大谷吉継と石田三成の関係を探る」(仮) 講師:小池 絵千花氏・外岡慎一郎氏

10月 4日(日) 14:00～15:00 公会堂・敦博・国吉城コラボ講座① 会場:敦賀市立図書館 3階 研修室

「府中三人衆と越前～動乱からの復活～」 講師:磯部 宏子氏

11月 1日(日) 14:00～15:00 公会堂・敦博・国吉城コラボ講座② 会場:敦賀市立図書館 3階 研修室

「豊臣政権と佐柿～国吉城と城下～」 講師:大野 康弘氏

11月22日(日) 13:30～17:00 特 別 展 記 念 講 演 会 会場:プラザ萬象

「天下人の時代と敦賀」 講師:柴 裕之氏・中井 均氏

※各関連講座のお問い合わせは、敦賀市立博物館(25-7033)までお願い致します。